改訂日 :　2026/01/19

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : 水垢シャンプー

製品番号 (SDS NO) : 08874-K9034

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 自動車ボディの洗浄用

使用上の制限 : 推奨用途以外に使用しないこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

販売元 : 株式会社バンザイ

住所 : 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19

担当部署 : 営業企画開発部

電話番号 : 03-3769-6884

FAX : 03-3456-4691

緊急連絡先 : 03-3769-6884

製造元 : 株式会社BTO

住所 : 〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東5-2-19

担当部署 : 商品企画部

電話番号 : 06-6302-5711

FAX : 06-6302-5712

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語:危険

危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H318 重篤な眼の損傷

注意書き

安全対策

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

P280 保護手袋を着用すること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

P321 特別な処置が必要である。

P310 直ちに医師に連絡すること。

P304 + P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚

を水又はシャワーで洗うこと。
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管
P405 施錠して保管すること。

廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :
混合物

| 成分名 | CAS No. | 含有量 (%) | 化審法番号 |
|---|---|---|---|
| ポリオキシエチレンアルキルエーテル | 84133-50-6 | 8.5 | 7-97 |
| 3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール | 56539-66-3 | 1 - 5 | 2-3079 |
| プロピレングリコールモノメチルエーテル | 107-98-2 | 5 - 10 | 2-404; 7-97 |
| D-リモネン | 5989-27-5 | < 0.5 | 3-2245; 7-988; 8-498 |

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分
労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分
プロピレングリコールモノメチルエーテル,
ポリオキシエチレンアルキルエーテル,
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(令和8年4月1日施行)

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分
プロピレングリコールモノメチルエーテル , D-リモネン ,
ポリオキシエチレンアルキルエーテル,
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(令和8年4月1日施行)

化管法「第1種指定化学物質」該当成分
ポリオキシエチレンアルキルエーテル

## 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
　　徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
応急措置をする者の保護
　　保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項
　　特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置
消火剤
　適切な消火剤
　　霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
　使ってはならない消火剤
　　棒状注水
消火を行う者への勧告
　特有の消火方法
　　関係者以外は安全な場所に退去させる。
　　蒸気を吸入しないために風上に移動する。
　　移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
　消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
　　火災の際には適切な呼吸器を着用する。
　　消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
　　関係者以外は近づけない。
　　適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項
　　漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
　　環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
　　少量の場合:吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
　　多量の場合:盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害の防止策
　　着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
　　全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
　　床を漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
　　火花を発生しない安全な用具を使用する。
　　漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い
　技術的対策
　　(取扱者のばく露防止)
　　粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
　　(注意事項)
　　皮膚に触れないようにする。
　　眼に入らないようにする。
　安全取扱注意事項
　　保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
　接触回避

「10.安定性及び反応性」を参照

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。
直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料

製品の容器に準ずる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)
濃度基準値 TWA: 50ppm

許容濃度

日本産業衛生学会

(水酸化カリウム)
(最大許容濃度) 2mg/m3

ACGIH

(水酸化カリウム)
Ceiling: 2mg/m3 (上気道、眼及び皮膚刺激)
(プロピレングリコールモノメチルエーテル)
TWA: 50ppm; STEL: 100ppm (眼及び上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体
色 : 黄色透明
臭い : オレンジの臭い
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点 : なし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 12

動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度 : 1.02
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性 : 適用外

10. 安定性及び反応性
反応性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
酸及び酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件
高温、直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパークを避けること。
混触危険物質
強酸化剤、酸、金属、アンモニウム塩
危険有害な分解生成物
燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。
ナトリウム酸化物、りん酸化物、水素、アンモニア

11. 有害性情報
毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
区分3 に分類される成分
水酸化カリウム
区分4 に分類される成分
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/区分1のATE) + (区分2に分類される成分の含有量合計/区分2のATE) + (区分3に分類される成分の含有量合計/区分3のATE) + (区分4に分類される成分の含有量合計/区分4のATE)
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/(0.5mg/kg-bw)) + (区分2に分類される成分の含有量合計/(5mg/kg-bw)) + (区分3に分類される成分の含有量合計/(100mg/kg-bw)) + (区分4に分類される成分の含有量合計/(500mg/kg-bw))
300 < 区分4 <= 2000 の範囲を超えるため、区分に該当しない。
急性毒性(経皮)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
急性毒性(経皮) の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
急性毒性(吸入)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
区分4 に分類される成分
プロピレングリコールモノメチルエーテル
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/区分1のATE) + (区分2に分類される成分の含有量合計/区分2のATE) + (区分3に分類される成分の含有量合計/区分3のATE) + (区分4に分類される成分の含有量合計/区分4のATE)
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/(0.05mg/L)) + (区分2に分類される成分の

含有量合計/(0.5mg/L)) + (区分3に分類される成分の含有量合計/(3mg/L)) + (区分4に分類される成分の含有量合計/(11mg/L))
10.0 < 区分4 <= 20.0 の範囲を超えるため、区分に該当しない。
労働基準法:疾病化学物質
水酸化カリウム
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
[製品データ]
[pHに基づく分類根拠]
11.5 <= pH であることから、皮膚腐食性/刺激性:区分1に分類した。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 1, 重篤な眼の損傷
[製品データ]
[pHに基づく分類根拠]
11.5 <= pH であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分1に分類した。
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[成分情報を用いた分類根拠]
呼吸器感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
皮膚感作性
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
D-リモネン
皮膚感作性を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。
生殖細胞変異原性
[成分情報を用いた分類根拠]
生殖細胞変異原性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
発がん性
[成分情報を用いた分類根拠]
発がん性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[成分データ]
[IARC]
(D-リモネン)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(プロピレングリコールモノメチルエーテル)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[生殖毒性:成分データを用いた分類根拠]
生殖毒性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[授乳に対する又は授乳を介した影響(追加区分): 成分データを用いた分類根拠]
授乳影響を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
水酸化カリウム
区分2 に分類される成分
メタ珪酸ナトリウム; エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩
区分3 (麻酔作用) に分類される成分
プロピレングリコールモノメチルエーテル
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
水酸化カリウム
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。
誤えん有害性
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
水酸化カリウム; D-リモネン
誤えん有害性の分類基準に該当しないため、区分に該当しない。

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 短期(急性)]
区分1 に分類される成分、および各々の毒性乗率M
D-リモネン(M=1)
(M X 100 x 区分1) + (10 x 区分2) + 区分3 < 25% であるため、区分に該当しない。
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 長期(慢性)]
区分1 に分類される成分、および各々の毒性乗率M
D-リモネン(M=1)
区分1、区分2、区分3、または区分4のいずれにも分類されないため、区分に該当しない。
水溶解度
(エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩)
100 - 110 g/100 mL (20℃) (出典: ICSC, 2006)
(水酸化カリウム)
110 g/100 mL (25℃) (出典: ICSC, 2010)
(プロピレングリコールモノメチルエーテル)
非常によく溶ける (出典: ICSC, 1997)
(D-リモネン)
非常に溶けにくい (25℃) (出典: ICSC, 2005)
残留性・分解性
[成分データ]
(3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール)
急速分解性あり (分解度: 110% (by BOD)) (出典: NITE)
(D-リモネン)
急速分解性なし (BIOWIN) (出典: NITE)
生体蓄積性
[成分データ]
(エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩)
log Pow: 5.01 (計算値) (出典: ICSC, 2006)
(3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール)
log Kow: 0.18 (出典: NITE)
(D-リモネン)
log Pow: 4.2 (出典: ICSC, 2005)
土壌中の移動性
データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
国連番号 : 3266
正式輸送名 :
その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、N.O.S.
分類または区分 : 8
容器等級 : II
指針番号: 154
特別規定番号 : 274
IMDG Code (国際海上危険物規程)
国連番号またはID番号 : 3266
正式輸送名 :
その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、N.O.S.
分類または区分 : 8
容器等級 : II
特別規定番号 : 274
IATA (航空危険物規則書)
国連番号またはID番号 : 3266
正式輸送名 :
その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、N.O.S.
分類または区分 : 8
危険性ラベル : Corrosive
容器等級 : II
特別規定番号 : A3; A803
環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
特別の安全対策
特別の安全対策データなし
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法
腐食性物質 分類8
航空法
腐食性物質 分類8

15. 適用法令
当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
プロピレングリコールモノメチルエーテル(規則別表第2の1787);
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。);

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(規則別表第2の2191,令和8年4月1日施行)
名称通知危険/有害物
プロピレングリコールモノメチルエーテル(規則別表第2の1787);
D-リモネン(規則別表第2の2220);
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。);
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール(規則別表第2の2191,令和8年4月1日施行)
化学物質管理促進(PRTR)法
第1種指定化学物質
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)(8.5%)
消防法に該当しない。
水質汚濁防止法
指定物質
水酸化カリウム(法令番号8)

## 16. その他の情報

参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和6年度 (2024年度) 公表分まで))です。